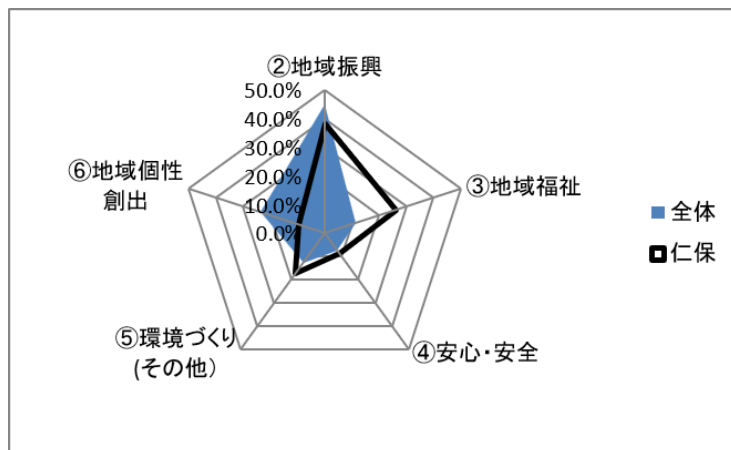


仁保自治会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	2,575人	自治会数	23
世帯数	990世帯	自治会加入率	91.0%

※数値は、令和8年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,763,000 円
交付金決算額	9,458,344 円
その他収入	8,074 円
交付金決算額／配分額	96.9%

各分野の決算

①協議会運営	5,335,537 円
②地域振興	651,635 円
③地域福祉	444,638 円
④安心・安全	145,845 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,432,000 円
⑤環境づくり(その他)	296,563 円
⑥地域個性創出	160,200 円
決算総額	9,466,418 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「広げよう いいとこ仁保 未来へつなげ!!～仁保に胸キュン～パート2」を合言葉に住み良い地域づくりを進める。

■総括

第4次地域づくり計画の初年度であり、4つの将来像に向け事業を展開した。
 「安心して生活できる環境づくり」では、高齢者サポート事業として、仁保地域支え合い隊や仁保地区福祉推進会議、認知症カフェが行う活動を支援した。高齢者に優しい住みよい地域づくりに寄与している。
 「安全で住みたい仁保」では、年々増加する放置された空き家を把握することを目的として、空き家実態調査事業に取り組んだ。自治委員や近隣住民の情報を集めることで、空き家の見守りが行いやすい体制を整えている。また、鳥獣被害対策として、サルにGPSを装着し、サルの動態を把握しながら追い払いに繋げる事業に対して支援を行った。
 「広げよう誇れる仁保」では、情報発信事業では、Canvaの導入など地域広報環境を充実させた。InstagramなどSNSも併せて活用し、仁保のPRを強化しながら、地域内外の交流促進を図った。
 「未来へつながる仁保」では、定住促進にかかる活動として、蚤の市を開催した。不用品の出品により、空き家の整理と利活用が進んでいる。その他、空き家マッチングツアーや空き家バンク制度等を通じて、定住の促進に寄与している。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局給与、事務費
② 地域振興	情報発信事業、地域交流促進事業、地域活性化応援事業①、有害鳥獣被害防止推進事業、ニュービジネス・産業振興事業、定住促進事業
③ 地域福祉	高齢者サポート事業、健康増進・ニュースポーツ振興事業、こども高齢者交流事業①、子育て支援事業
④ 安心・安全	交通安全推進事業、防犯対策事業、自主防災活動実施事業
⑤ 環境づくり	法定外公共物等整備事業、清掃活動推進事業、環境維持保全事業
⑥ 地域個性創出	歴史文化伝承事業、こども高齢者交流事業②、地域活性化応援事業②

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	情報発信事業	決算額	298,420円
	目的	住民が地域情報を共有できるよう、地域づくり活動への理解と参加を促進する。		
	実施内容	交流センターが発行する仁保だよりの有効活用。ホームページやInstagramなどの活用。仁保の里カレンダーの全戸配布。キントーンやCanvaの活用。		
	実施時期	随時		
	参加人数	地域内戸数約916戸		
	成果	仁保自治会だより年2回発行、ホームページやInstagramを随時更新 帰郷庵や空き家に関するチラシを自主作成		
	評価	HP等で地域情報を適時に地域内外に発信することにより、住民の地域意識が醸成されるとともに、交流人口の増加に結びついている。Canvaを利用して自治会だよりやチラシを作成することで、経費の大幅な節減を図ることができた。		
	今後に向けて	SNSで更に魅力ある情報を発信していきたい。AIの活用を広げたい。		
②	事業名	高齢者サポート事業	決算額	135,967円
	目的	高齢化が進む中で、高齢者が地域内で安心して幸せに暮らせるよう、サポートを行う。		
	実施内容	老人クラブ活動、シニア健康教室、サロン活動、高齢者の支え合い活動(ゴミ出し支援)、JA女性部ミニデー、認知症カフェ里山茶屋の実施を支援等。 福祉推進会議を三カ月に一回開催した。		
	実施時期	通年		
	参加人数	延べ500人程度		
	成果	地区民の各年齢層の健康づくり活動が促進された。		
	評価	高齢者の交流活動など様々な活動が関係団体や支援機関により頻繁に行われ、地域内外で評価いただいている。		
	今後に向けて	活動の内容を一層充実させていく。		
③	事業名	環境維持保全事業	決算額	265,063円
	目的	美しい環境を保持し、住み続けられる里になるよう、事業や各団体の支援を行う。		
	実施内容	河川草刈整備、オオキンケイギク駆除(5月)犬鳴の淹散策道清掃(3月)		
	実施時期	5月～翌3月の間		
	参加人数	約300人		
	成果	河川の草刈りをすることによって水害防止と環境美化が図られた。 オオキンケイギク駆除、犬鳴の淹散策道清掃は多くの方が参加された。		
	評価	清掃や駆除活動を通じて、自然愛護の意識を啓発できた。		
	今後に向けて	今後も引き続き取り組んでいく。		